

令和4年度 はなバス見直し基準における算出結果

1 収支率

◆収入の算出

$$\text{収入} = \frac{\text{利用者数}^{\ast 1} \times \text{設定運賃}}{\text{消費税}} + \text{広告費}^{\ast 2}$$

利用者によって変動する運賃（こどもの運賃等）を統一するため、設定運賃（150円）の税抜額を乗じて算出。

※1：区間ごとに計上した値。 ※2：系統別の広告費を走行距離で按分し、区間ごとに算出。

◆支出の算出

- ・車両減価償却費（5年償却）を、実際の車両の運用と合わせて10年償却で平準化した車両減価償却費に置き換える。
- ・臨時的経費については、ルート及び年度ごとに変動するため控除する。
- ・上記の条件を適用し、算出した経費を走行距離で按分し、区間ごとに算出する。

◆目標収支率：70%

		第1	第2				第3			第4北	第4南			合計
			主軸	課題A	課題B	計	主軸	課題	計		主軸	課題	計	
令和元年度	収支率	86.6%	75.2%	24.3%	42.5%	62.1%	64.3%	19.6%	47.7%	40.2%	86.4%	36.0%	73.2%	59.6%
	目標収支率：70%以上	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
令和2年度	収支率	54.9%	46.1%	14.3%	24.0%	37.5%	44.6%	12.7%	32.7%	26.0%	57.9%	24.8%	49.3%	39.1%
	目標収支率：70%以上	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
令和3年度	収支率	57.8%	50.1%	14.3%	25.0%	40.4%	46.1%	12.9%	33.8%	28.4%	68.7%	29.5%	58.5%	42.7%
	目標収支率：70%以上	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
令和4年度	収支率	61.3%	67.2%	16.4%	28.9%	50.9%	46.7%	14.8%	35.9%	33.3%	79.3%	32.3%	67.1%	48.0%
	目標収支率：70%以上	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×

2 公共交通空白地域・不便地域に設置しているはなバスのバス停における1人当たりの乗車回数

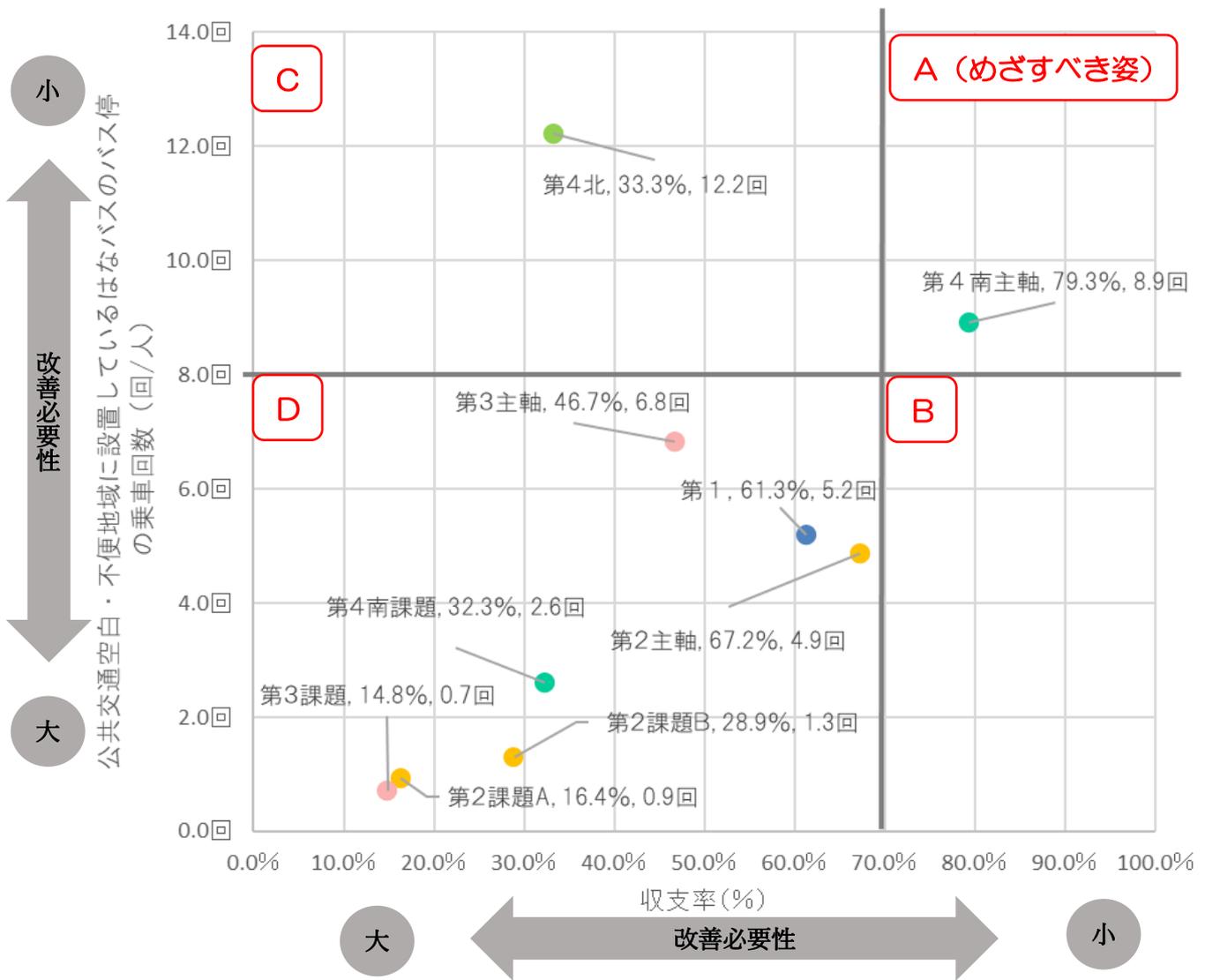
◆乗車回数の算出

バス停ごとの現金及びICカードの年間利用者を区間別に集計し、対象区間の沿線人口（令和5年4月時点）で除して算出する。

◆目標乗車回数：年間8回/人

		公共交通空白・不便地域に設置している はなバスのバス停の沿線人口（人）①	乗車回数 （回/年）②	沿線人口1人当たり 乗車回数（回/人）②÷①		直近の 傾向
				令和3年度	令和4年度	
第1		17,774	92,449	4.8回	5.2回	↗
第2	主軸	5,133	24,960	4.0回	4.9回	↗
	課題A	4,419	4,082	0.8回	0.9回	↗
	課題B	1,116	1,443	1.5回	1.3回	↘
第3	主軸	12,008	81,954	6.0回	6.8回	↗
	課題	15,159	10,915	0.7回	0.7回	→
第4北	課題	2,456	29,990	9.7回	12.2回	↗
第4南	主軸	10,284	91,549	7.4回	8.9回	↗
	課題	4,544	11,852	2.3回	2.6回	↗

3 収支率と乗車回数との関係



(参考) 各ルートの主軸区間と課題区間の設定

平成30年に実施した、はなバスの乗降（OD）調査の結果から、運行本数や運行距離を考慮し、1km当たりの乗車人数を算出し、その算出値をルート全体の1km当たりの利用人数の値と比較した際に、利用者が多い区間を「主軸区間」、利用者が少ない区間を「課題区間」として設定しました。各ルートの区間は下図のようになっています。



(凡例)
— 主軸区間
— 課題区間